

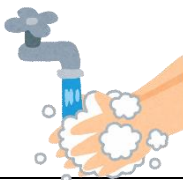



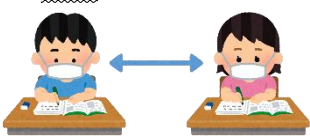







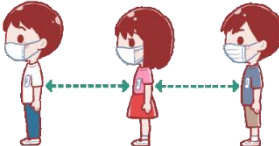


「新しい生活様式」に基づく学校生活の流れ R3.1.18

佐倉市立小竹小学校

	児童・生徒	教職員
登校	<p>○1列に並び、間隔をあけて歩きます。</p> <p>○基本的には、マスクを着用しますが、人との距離が十分とれば、マスクを外せます。</p> 	<p>○身体的距離の確保等について指導します。</p> 
学校に着いたら	<p>○昇降口等では、順番を守り、速やかに上履きに履き替えます。</p> <p>○密集にならないようにします。</p> <p>○荷物を整理してから、まず手を洗います。</p> 	<p>○登校指導の中で、身体的距離の確保やマスクの確認をします。</p> <p>○水飲み場前での密集を避けるように指導します。</p> <p>➡適切な間隔を開けるようにポイントを打ち、蛇口から直接水を飲むことがないようにします。</p> 
朝の会	<p>○健康観察を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任に健康観察カードを提出し、チェックを受けます。 	<p>○体調の確認を行い、体調不良の際には、保護者へ連絡し、管理職へ報告します。</p> 
授業中	<p>○基本的には、正面を向いて学習しますが、グループ活動など対面での学習も段階的に実施します。</p>  <p>○次の学習は、十分な感染対策を行った上で段階的に実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科における実験や観察 ・図工、美術等の共同制作 ・音楽における合唱、リコーダーや鍵盤ハーモニカ ・家庭科における調理以外の実習 ・体育における密集する運動や接触を伴う運動 <p>○教材教具の貸し借りはしません。</p>	<p>○授業形態を配慮します。</p> <p>➡グループ活動や話し合い活動は、感染状況を踏まえて段階的に実施します。</p> <p>○学習環境・内容を配慮します。</p> <p>➡室内の換気に配慮して行います。</p> <p>➡共用の物の使い方を指導します。</p> <p>➡「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準に従って段階的に実施します。</p> <p>○教室の入口と出口を表示し、一方通行となるようにします。</p> 
給食	<p>○衛生管理を徹底した上で、配膳は給食当番と担任が行います。</p> <p>○食事の前後は、必ず手洗いをします。</p> <p>○配膳時や食事中は、大きな声を出さないようにし、会話は控えます。</p>	<p>○給食当番の衛生チェックを行います。</p> <p>➡マスク・白衣の着用、手洗いの確認をします。</p> <p>➡体調を確認し、不良の場合は当番を行わないように指導し</p> 

	○座席は、前向きのまま食事をとります。	ます。
休み時間	○石けんで手洗いを行います。 ○換気をして教室内の空気を入れ替えます。 ○会話をする際には、一定の距離を保ち、体を接触させるような遊びは行いません。 	○室内の空気が入れ替わるよう工夫して換気をします。  ○トイレ・手洗い場の環境を確認します。 ○休み時間の過ごし方を見守り、体が接触するような遊びや活動を避けるよう声かけをします。
清掃	○換気をしながら通常掃除で行います。  ○分散して清掃を行います。 ○トイレ清掃は、手袋を着用し、衛生面に気を付けて行います。 ○清掃後は石けんで手洗いを行います。	○子供たちと一緒に活動します。 ○密集しないように場所、時間、人数について配慮します。 ○家庭用洗剤等を有効に活用し、特に大勢が触れる箇所は、水拭き後、消毒液等で拭きます。 ○終了後の手洗いの確認をします。 
帰りの会	○健康観察を行います。 ・異常があった場合は担任へ伝えます。	○体調の確認を行い、体調不良の際には、保護者へ連絡し、管理職へ報告します。
体育的部活動 ・ 体育	○開始前、休憩中、終了後など、手洗いをこまめに行います。 ○着替えの時は、会話はしません。 ○休憩中や活動後において、マスクを外して会話することはしません。	○開始前に、健康チェックをします。 ○密集しないよう、活動の形態を工夫します。 ○休憩中や活動後の子ども達の様子を確認します。 
下校	○1列に並び、間隔をあけて歩きます。 ○マスクを着用しますが、人との距離が十分とれれば、マスクを外せます。 	○身体的距離の確保について確認します。 →校門前、昇降口等で密集しないよう配慮します。 
全体を通して	○マスクについては、暑さや息苦しいと感じた時に自身の判断で外せます。外した場合はしゃべらないように気をつけます。	○マスク着用は、臨機応変に対応する。児童生徒がマスクを自身の判断で外す場合は、私語等についての声掛けをします。